

別紙

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	福祉対策措置	日野町立日野中学校照明器具LED交換工事	日野町	4,266,000	4,266,000	

(備考)事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号		措置名		交付金事業の名称	
1		福祉対策措置		日野町立日野中学校照明器具LED交換工事	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名			日野町		
交付金事業実施場所		鳥取県日野郡日野町野田210			
交付金事業の概要		日野町立日野中学校は、生徒数77人、職員数20人と小規模ですが、町内唯一の中学校として地域とのつながりも強く、地域に開放した参観日の開催や、夜間リーグバレーボール大会などの町民のスポーツ活動の拠点としても活用され、広く住民にも親しまれています。このたび、校舎の一部の照明器具LED交換工事に電源立地地域対策交付金を活用します。			
総事業費		4,266,000	交付金充当額	4,266,000	
			うち文部科学省分		
			うち経済産業省分	4,266,000	
交付金事業の成果目標		日野町立日野中学校は、昭和59年4月に当時の根雨中学校、黒坂中学校が統合して開校、校舎も同年に竣工しました。近年の少子化に伴い、生徒数も全校で77人、職員数20人という小規模校ですが、日野町で取り組んでいる保育所・小学校・中学校への滑らかな接続のための「保小中一貫教育」など、少人数ならではのきめの細かい教育が行われているのが特長です。 しかしながら、校舎建設後33年が経過し、照明設備についても建設後から継続して使用しており、安定器の不具合により、照明がつかない場所もあります。また、現在ほとんどが蛍光灯を使用しており、明るさが一定していないために生徒に不便が生じています。 そのため、校舎内の照明を低電力で長寿命のLED照明器具に交換し、経費削減と共に、安定した明るい空間を利用者に提供し、地域に開かれた学校として、交流の拠点として今まで以上の活用を目指します。			

交付金事業の成果指標	上記成果目標を達成するため、照明器具をLED照明器具に交換し、安定した明るい照明のもとで円滑な学校運営を図ります。成果指標として、生徒及び教職員にアンケート調査を実施し、明るくなることによる満足度100%を目指します。また、従来の白熱灯、蛍光灯に比べて長寿命であるため、維持管理経費の節減効果も見込めるほか、LED照明器具という、電気施策に直接かかわる事業であることから、地域住民の電源開発への理解・協力が得られ、ひいては発電用施設等の設置及び運転の円滑化に資することができます。		
交付金事業の成果及び評価	このたびの事業により、校舎内の照明をLEDに交換することができました。 工事完了後、生徒、教職員等にアンケート調査を実施したところ、従前との明るさの比較について、いずれも「暗くなった」との回答はなく、明るくなることによる満足度100%は達成したと考えています。特に、保健室および図書室では照明に調光機能を付加したため、教室の使用目的に合わせた明るさの調節が可能となり、アンケートでも「明るさの調節ができ使いやすくなった」との感想も寄せられています。 以上のとおり、このたびの事業では、単なる「照明器具の交換」だけでなく、「照明器具の交換による施設の利用のしやすさ」を提案することができ、このことは事業の成果として大いに評価できる点であると考えます。		
交付金事業の契約の概要			
契約の目的		契約の方法等	契約の相手方
電気設備工事		指名競争入札	(株)中電工米子営業所
			4,266,000
		計	
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無		交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	
		33年度	

(備考)(1)事業ごとに作成すること。

(2)番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3)交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。

(4)交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。

(5)交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。

(6)交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

(7)成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載すること。